

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 10 月 28 日

【評価実施概要】

事業所番号	3870103466		
法人名	有限会社 ケイ・エム・エス		
事業所名	グループホーム さしもも		
所在地	松山市高岡町6 1 7 番地 (電話) 089-973-7055		
管理者	松本 カホル		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 20 年 9 月 12 日	評価確定日	平成 20 年 10 月 31 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 8 月 23 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 7 月 14 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 15 人, 非常勤 人, 常勤換算	14.8 人

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	13,000 円	
敷金	有()円 ○ 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 ○ 無	有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,000 円		

(3) 利用者の概要 (平成 20 年 8 月 23 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護 1	4 名	要介護 2	4 名		
要介護 3	6 名	要介護 4	3 名		
要介護 5	1 名	要支援 2	名		
年齢	平均 86.3 歳	最低 78 歳	最高	96 歳	

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	なし	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

バスの路線に面した静かな住宅街に建ち、民家改造型1ユニットと近代的建物1ユニットの合計2ユニットのホームである。一般家庭の雰囲気、機能的な構造と、ユニットそれぞれに特徴があり、廊下で行き来できるようになっている。毎月、利用者の暮らしぶりや金銭管理の報告を家族に送り、送付後は必ず家族の来訪があるなど、家族との信頼関係を築いている。介護計画は定期及び利用者の変化に応じて見直し、現状に即した計画を作成している。食事は栄養士の立てた献立を基に、利用者の好みを取り入れ、ゼリー等を利用しての水分摂取等も工夫している。居室は利用者の使い慣れた物や好みのもを持ち込み、居心地よく過ごせるようにしている。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)	評価結果を活かし、職員の研修受講の奨励、食事介助の改善や職員が利用者と一緒に食事をするなどに取り組み、改善に熱心に取り組んでいる。
▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)	一部の職員に聞き取り、管理者がまとめている。
▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)	管理者の交代もあり、開催が6か月に1回となっている。また、参加メンバーが少なくやや固定的になっている。管理者は開催に向けての取り組みに意欲を見せており、今後に期待したい。
▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)	重要事項説明書に苦情相談窓口や相談方法等を詳細に明記し、玄関に意見箱を設置して対応している。連絡事項等について、家族には早めに連絡し、不安の解消に努めている。
▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)	自治会に加入して回覧板等で地域の情報を得たり、民生委員とも交流している。祭りや敬老会などの行事に参加し、地元の方との交流に努めている。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。

- 「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 愛媛県グループホーム さしも

(ユニット名) さしも 1

記入者(管理者)

氏名 松本 カホル

評価完了日 平成 20 年 8 月 25 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 理念に基づいて地域へのサービスを展開する。 (外部評価) 開設時に職員で話し合い、ユニット毎の理念を作成している。さらに、今後ホーム全体としての基本理念を作成する予定である。	※	地域密着型サービスを理解した上で、ホームの役割を盛り込んだ独自の基本理念の作成を期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 分かり易く目に付く所に理念を掲げ日常的に共有出来ている。 (外部評価) 毎月開催する全員参加のミーティングで理念について話し合う時間を持ち、実践に向けて取り組んでいる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 家族には入居時、訪問時に伝えていてホーム内の見え易い所にも明示している。 今までの推進会議などから地域に少しずつ取り組んでいると思う。	※	今後推進会議等、地域への広報活動を活発化していきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 回覧板などのつながり、また散歩・買い物時挨拶を交わし、立ち話をしたり、季節の作物を頂くこともある。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の文化祭、お祭り、盆踊りなど利用者さんと共に積極的に参加している。 (外部評価) 自治会に加入し、回覧板等から情報を得て、敬老会や春・秋の祭りなどに参加して地元の人々との交流に努めており、また民生委員とも交流を深めている。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) ボランティアの受け入れを行っている。		
3. 理念を实践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 職員は評価の意義を理解し、自己評価に取り組む様になっている。 (外部評価) 自己評価は、一部の職員から聞き取った内容を管理者がまとめて作成している。改善目標と結果の記録は作成していないが、評価結果を活かして、職員の研修受講、食事介助の方法や食事を楽しむ工夫などを改善している。	※	評価の意義を全員が理解した上で全員で取り組むことが求められる。評価結果についての話し合いを行い、改善を計画的に進めるための改善計画表の作成が期待される。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 今後も質問、意見、要望を受け双方向的な会議となる様にする。 (外部評価) 管理者の交代もあり、開催が6か月に1回となっている。市担当者、民生委員、家族等をメンバーとしているが、参加メンバーが少なく、やや固定的である。	※	警察、消防署、学校関係者や地域代表者など多様なメンバーに参加してもらい、2か月毎に開催することが望まれる。議題等も検討し、より活発な意見交換の場となるような運営の工夫を期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 推進会議以外での連携は取れていない。 (外部評価) 市担当者の依頼により、保健師の研修を受け入れる予定である。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 今のところ対応が必要と思われる利用者さんはいない。今後必要に応じて対応を検討する。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) カンファレンス等で一人ひとりの利用者さんの事を理解し、防止の徹底に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時には事業所のケアに関する考え方や、取り組み・対応可能な範囲について説明を行っている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情相談の担当者、窓口については入居契約時に十分説明し、意見箱を設置している。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 来訪時には利用者さんの現状を説明し、何らかの変化や問題が起きた場合は連絡している。 金銭については、使道の確認や出納帳の明示をしている。 (外部評価) 請求書と金銭出納帳のコピー、本人の暮らしぶりの写真等を毎月送り、その後家族の来訪があるので再度報告して確認してもらうようにしている。また、今後はホーム便りの作成を目指している。	※	さらに丁寧に取り扱うために、家族の来訪時に金銭出納簿に確認印をもらうことを期待したい。また、ホーム便りの作成についても、実現を期待する。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族には訪問時何でも言ってもらえる様留意している。 (外部評価) 重要事項説明書に苦情相談窓口と処理概要を明記し、また玄関に意見箱を設置して対応している。来訪時にはよく話し合うよう心がけ、電話でも早めに連絡するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 日々意見を聞き、コミュニケーションを図るよう心掛けている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 出来る限り利用者さんの状態やペースに合わせたローテーションを組んでいる。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 今のところ各ユニットの職員を固定化し利用者さんの動揺を無くしている。 (外部評価) 管理者と職員の異動や離職が続いている時期である。職員の離職の場合は重複勤務で利用者のダメージを防ぐようにしている。	※	利用者が安定した生活を続けるためにも、ホームとして異動や離職を防ぐ取り組みや工夫が求められる。
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修などの参加を心掛けている。 (外部評価) 県グループホーム連絡協議会に所属し、申し送りノート等を活用して研修の情報を提供し、受講を奨励している。職員は積極的に受講するよう心がけている。受講者は報告書を作成し、ミーティングで報告している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 出来ていない。		
			(外部評価) 法人内で行事を通しての交流はあるが、地域の同業者との交流は十分とは言えない。	※	地域の同業者と交流する機会を設け、相互訪問などを通してサービスの質の向上を図ることが望まれる。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 何でも相談や意見が言える環境にある。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 直接ではないがだいたい把握している。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 本人や家族が事業所を見学時に不安な事・求めている事等をよく聴き、受け止め努力している。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族が求めているものをよく聴き、早目に利用者さんのアセスメントを作成し受け止める努力をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 現在は福祉用具以外での他のサービス利用のケースはありません。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 速やかに入所申し込みを呈示して職員一人一人が利用者さんの事を理解する。 家族にも今までの生活スタイルを聞き馴染みの物を持ち込んで頂く。 (外部評価) 必ず本人及び家族に面接し、話し合ってからサービスを開始するようにしている。入居後も、利用者の状態を見ながら家族の訪問が得られるよう配慮し、雰囲気に馴染めるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 家族であるとの意識をもち、人生の先輩として尊重し安心して生活できる場をつくる。 (外部評価) 昔の歌を教えてもらったり、感謝や労いの言葉をかけてもらうなど、共に支え合う関係を築いている。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族と同じ思いで支援していきたい。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人と家族との関係を理解し、より良い関係が築けるよう支援している。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 面会時には居室でゆっくりして頂ける様努めている。疎遠がちな家族(特にキーパソン)にはこちらから電話して会話して頂ける様努めている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 職員が一人ひとりの事を把握し、みんなで楽しく過ごす時間や気の合う者同士で過ごせる場面づくりをするなど支え合えるように努めている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 必要に応じて相談出来る体制は出来ている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日常生活の中で一人ひとりの暮らし方を把握し、その人らしい生活を検討している。 (外部評価) 日々共に過ごす中で、顔色や体調を見ながら利用者の意向を把握するようにしている。気付きをミニカンファレンスノートに記入して職員間で共有し、本人本位に検討している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 生活歴についてはまだまだ分かっていない事があるが、会話や日々の生活の上で把握に努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 利用者さん一人ひとりの生活リズムを理解するとともに行動や小さな動作から感じとり、本人の全体像の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 利用者さんの担当は決めている。担当者・本人・家族の意見も交えてケアプラン作成している。 (外部評価) 本人及び家族の聞き取りから利用面接票を作成し、担当者を中心に基本プランを立て、ミニカンファレンスで意見やアイデアを出し合って、個別の介護計画を作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 三ヶ月毎見直しているが、変化が生じた場合はカンファレンス、また引き継ぎノートに記入し現状に即した対応をするよう話し合っている。 (外部評価) 3か月毎の定期的見直しを行うと共に、変化に応じてミニカンファレンスで話し合い、現状に即した新たな計画を作成し、家族の意見を聞き、確認してもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 一人ひとりの日々の様子、気づき、身体的状況を経過記録に記入し、職員全員で情報を共有し、実践して介護計画に活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 現在までケースは無いがグループ内の他事業所を利用することは可能。 (外部評価) 法事への出席の支援など、本人や家族の希望に柔軟に対応するよう努めている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) あまり現実には出来ていない。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人・家族さんの意向で介護用品等の購入時には他のケアマネや業者に相談しているが、他のサービスについての連携はほとんどない。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 今のところ推進会議以外では協働がほとんど無い。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 事業所の協力医の他受診の通院は本人や家族の希望に応じて対応している。 (外部評価) 本人及び家族が希望する医療機関の受診や、状態の変化に応じた専門医への受診など、適切な医療を受けられるよう支援している。薬は医務係が管理しているが、受診結果の管理が十分とは言えない。	※	かかりつけ医とホームとの関係を築き、常に適切な医療を受けられるよう、受診結果を管理することが望まれる。
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 協力医院の他に認知症を理解し、受診させて頂いている眼科・歯科があり、必要に応じ往診などもして頂いている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 協力医院との看護師とは日頃の健康管理や医療面での相談・助言・対応を行ってもらっている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時には頻繁に職員が見舞うようにしている。また家族とも情報交換をしている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 本人・家族さんの意向をふまえた上で急変時等には家族さんと管理者又はケアマネが同席し主治医と最善の方法を話し合う。 (外部評価) 入居時の早い段階で話し合いを行っている。1人の看取りを行ったが、看取りの指針やマニュアルは作成していない。	※	看取りに関するホームの方針を明確にし、本人及び家族の同意を得て、その後も繰り返し話し合いを行うことが望まれる。指針とマニュアルを作成して、職員全員で共有することが望まれる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 利用者さんの変化を早めにキャッチし、その度、度主治医に報告する。 常に変化に備えて医師と情報交換し家族にも知らせている。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 他の事業所や入院時等フェイスシートを手渡すと共に特に注意が必要な点等情報提供し連携を心掛けている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 利用者さんの尊厳を大切にし、プライバシーを損ねない対応をしたい。 (外部評価) 利用者の誇りやプライバシーを損ねる言葉かけや対応はしていない。	※	今後さらにカンファレンス等で話し合い職員全員が言葉かけ、対応に気配りできる様にしたい。
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 利用者さんの意思表示を見逃さないで納得いくまで説明を行う支援。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) その人らしい暮らし、日々大切にしているが時には職員側の都合を優先する場合もある。 (外部評価) 1日の基本の流れの中で、朝食時間や食後の過ごし方など、一人ひとりのペースを大切にしている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 季節感が出て本人の意向も考慮している。髪型等も希望を取り入れている。馴染みの方の訪問カットもある。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 昔の事を思い出して下さるような声掛けしながら食事を楽しませている。準備・片付けも出来る人にはして頂く。 (外部評価) 調理の下ごしらえ、配膳や下膳など、一人ひとりの力を活かしながら利用者と職員と一緒に準備や食事をし、会話を交わし、食事が楽しめるよう支援している。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) コーヒー等・好みの物 その人に合わせた時間に楽しんで頂く様な支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) サインをキャッチし見逃すことなく、また決まった時間に習慣されていてトイレ誘導にも気配りしている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 利用者さんの体調、希望なども確認し楽しんで入浴して頂いている。 (外部評価) 週2回、午後入浴とし、曜日毎に入浴する方を決めている。入浴拒否のある利用者に当日の入浴者を知らせる役をお願いするなど、入浴を楽しめるように声かけにも工夫している。	※	入浴回数や利用曜日を限定せず、その日その日で希望を聞きながら対応し、入浴をより楽しめるような工夫について検討していくことを期待する。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの睡眠時間等把握して状況に応じた支援をしている。	※	なるべく日中の活動を増やし生活リズムを整える様にした。 (散歩など)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 入居前の生活スタイルを考慮しそれを活かした支援 その人らしい生活の支援 (外部評価) 季節ごとの行事をはじめ、料理教室、歌の練習、カルタ取りなど年間の計画やぬり絵やお手玉作りなど、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。また、植木の水遣りなどの役割の支援もしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 職員と一緒に外出時本人が支払って頂く工夫。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) ホームの周りの散歩はもちろん、買い物、ドライブ 出かける喜びの支援。 (外部評価) 買い物やドライブ、近隣の小川や山手への散歩などに出かけており、車いすでの外出も支援している。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 今は家族から誘って頂く機会有り。 (家族の法事など)		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者さんの希望に応じて日常的に電話や手紙を出せる様な支援をしている。 (ホームから葉書・写真など送る)	※	ホーム便りまた家族会等にも取り組みたい。
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 訪問時間など定めてなく、家庭として過ごせるよう工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員が正しく認識しており身体拘束のないケアに取り組んでいる。 転倒防止(夜間)の場合、家族合意のもとに実行しているが自立支援を目指している。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 利用者さんの自由な暮らしを支えるためにも日中はなるべく鍵をかけないですむよう配慮しているがやむを得ずかける場合は家族に説明している。 (外部評価) 外出傾向がある方や、不穏な状態になって戸外に出る方がおり、利用者の安全のために鍵をかけることが多い。	※	利用者の習慣や不穏になる状況等を把握し、職員が常に見守りを行うことで鍵をかけないケアの実践が可能かどうか、検討を続けていくことが望まれる。
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) さりげなく声掛けし全員の状況を把握、安全に配慮している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 利用者さん一人ひとりの状態に応じて取り組みしている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 職員が認識し、ヒヤリハット等を活用。日々事故防止に取り組んでいる。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 近隣に主治医がいて24時間連絡をとれる体制にある。	※	初期対応の訓練必要。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 地域の協力は得られてないが職員は利用者さんを避難できる心得はある。 (外部評価) 緊急連絡網や避難マニュアルを作成しており、消防署の協力を得て年2回の避難訓練を行っているが、自主的な避難訓練は行っていない。また、地域の協力が得られるまでには至っていない。	※	自主的な避難訓練についても、計画的に繰り返し行うことを期待する。また、地域住民に、運営推進会議をはじめ様々な機会を通して協力をお願いし、いざという時に備えておくことを期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) 一部の家族とは話し合い説明している。	※	今後家族会など実施して話し合う必要あり。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 体調変化など見逃すことなく速やかに情報を共有し対応している。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 常に一覧表に記してあり、また服用時には手渡しで最後まで確認している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 水分補給に気をつけ（寒天ゼリー）毎食とりいれている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 就寝時、職員の見守りと介助で口腔ケアをしている。また、義歯は居室の専用コップにポリデントを入れて衛生面に気をつけている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの摂取状況をチェック表に記録している。水分量も気配りしている。 (外部評価) 管理栄養士の立てた献立を基に利用者の好みを取り入れた食事メニューとし、またお茶やジュース以外に毎食ゼリーでも水分を確保するよう配慮しており、栄養バランスや水分量が適切に確保できるよう支援している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 主治医の意見を基に必要に応じて対応している。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) まな板や台ふき等は毎晩漂白し清潔を心掛けている。食器乾燥機使用。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 四季の花を植えたりして親しみやすく家庭らしさが出るよう工夫している。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節感を採り入れた飾り付けをしている。 (外部評価) 民家改造型ユニットの家庭的な雰囲気と、近代的な建物のユニットの明るく機能的な雰囲気というそれぞれの特徴を活かしている。カーテンで光を調節し、ベランダの花や額の配置などで季節感や生活感を取り入れ、居心地よく過ごせるよう工夫している。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 広い和室やベランダもあり、独りでくつろげたりお茶を飲むことのできるスペースあり。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 入居時利用者さんの使い慣れた本人の匂いのするものを、とお願いしている。 (外部評価) 仏壇や家族の写真、テレビ、タンス、観葉植物や好みのインテリアなどをそれぞれ持ち込み、本人が居心地よく過ごせるよう工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 風呂場・トイレ等は換気に努め、気になる所には消臭剤等を置き室温調節も出来ている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 家庭的な建物であり、手すり・バリアフリーにもなっていて安全に生活が送れている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 残在機能を活かすためにも出来ることはして頂いている。 トイレに目印案内つけわかりやすい工夫をしている。		
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 庭も広く、野菜・花の水やり、手入れを楽しんだりベランダも活用している。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価)	① ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	ケアプランや家族の意向より。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価)	① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	食後の一時。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価)	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ある程度ホームのリズムに合わせて頂いている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価)	① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員がみせる行動一つ一つに喜びを感じられている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価)	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	なかなか個人的に実行するには難しい。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価)	① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	近隣に主治医がいるので利用者さんと共に職員も不安がない。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価)	① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	その時々要望に応じている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価)	① ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	月に一度は家族さんとの会話できる時間があり信頼関係が出来ていると思う。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価)	1 ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	地元の方がボランティアに訪ねて来て下さる。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) ③ あまり増えていない 4 全くいない	まだ深い関係は築けていない。
98	職員は、生き活きと働いている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	笑顔で生き活きしていないと利用者さんに伝わる。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	散歩、買い物等戸外に一緒に行けるようにしたい。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) ③ 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	外出の機会が少ないので不満に思われているのではと思う。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- 一. はい. という素直な心
- 一. すいません. という反省の心
- 一. ありがとうございます. という感謝の心
- 一. おかげさまで. という謙虚な心
- 一. 私がします. という奉仕の心

- いつ・どんな時でも・やさしさ・真摯な気持ちで入所の方と一緒に生活する。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。

- 「取り組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 愛媛県グループホーム さしも

(ユニット名) さしも 2

記入者(管理者)
氏名 松本 カホル

評価完了日 平成 20 年 8 月 25 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 理念に基づいて地域へのサービスを展開する。 (外部評価) 開設時に職員で話し合い、ユニット毎の理念を作成している。さらに、今後ホーム全体としての基本理念を作成する予定である。	※	地域密着型サービスを理解した上で、ホームの役割を盛り込んだ独自の基本理念の作成を期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 分かり易く目に付く所に理念を掲げ日常的に共有出来ている。 (外部評価) 毎月開催する全員参加のミーティングで理念について話し合う時間を持ち、実践に向けて取り組んでいる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 家族には入居時、訪問時に伝えていてホーム内の見え易い所にも明示している。 今までの推進会議などから地域に少しずつ取り組んでいると思う。	※	今後推進会議等、地域への広報活動を活発化していきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 回覧板などのつながり、また散歩・買い物時挨拶を交わし、立ち話をしたり、季節の作物を頂くこともある。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の文化祭、お祭り、盆踊りなど利用者さんと共に積極的に参加している。 (外部評価) 自治会に加入し、回覧板等から情報を得て、敬老会や春・秋の祭りなどに参加して地元の人々との交流に努めており、また民生委員とも交流を深めている。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) ボランティアの受け入れを行っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 職員は評価の意義を理解し、自己評価に取り組む様になっている。 (外部評価) 自己評価は、一部の職員から聞き取った内容を管理者がまとめて作成している。改善目標と結果の記録は作成していないが、評価結果を活かして、職員の研修受講、食事介助の方法や食事を楽しむ工夫などを改善している。	※	評価の意義を全員が理解した上で全員で取り組むことが求められる。評価結果についての話し合いを行い、改善を計画的に進めるための改善計画表の作成が期待される。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 今後も質問、意見、要望を受け双方向的な会議となる様にする。 (外部評価) 管理者の交代もあり、開催が6か月に1回となっている。市担当者、民生委員、家族等をメンバーとしているが、参加メンバーが少なく、やや固定的である。	※	警察、消防署、学校関係者や地域代表者など多様なメンバーに参加してもらい、2か月毎に開催することが望まれる。議題等も検討し、より活発な意見交換の場となるような運営の工夫を期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 推進会議以外での連携は取れていない。 (外部評価) 市担当者の依頼により、保健師の研修を受け入れる予定である。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 今のところ対応が必要と思われる利用者さんはいない。今後必要に応じて対応を検討する。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) カンファレンス等で一人ひとりの利用者さんの事を理解し、防止の徹底に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時には事業所のケアに関する考え方や、取り組み・対応可能な範囲について説明を行っている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情相談の担当者、窓口については入居契約時に十分説明し、意見箱を設置している。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 来訪時には利用者さんの現状を説明し、何らかの変化や問題が起きた場合は連絡している。 金銭については、使道の確認や出納帳の明示をしている。 <hr/> (外部評価) 請求書と金銭出納帳のコピー、本人の暮らしぶりの写真等を毎月送り、その後家族の来訪があるので再度報告して確認してもらうようにしている。また、今後はホーム便りの作成を目指している。	※	さらに丁寧に取り扱うために、家族の来訪時に金銭出納簿に確認印をもらうことを期待したい。また、ホーム便りの作成についても、実現を期待する。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族には訪問時何でも言ってもらえる様留意している。 <hr/> (外部評価) 重要事項説明書に苦情相談窓口と処理概要を明記し、また玄関に意見箱を設置して対応している。来訪時にはよく話し合うよう心がけ、電話でも早めに連絡するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 日々意見を聞き、コミュニケーションを図るよう心掛けている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 出来る限り利用者さんの状態やペースに合わせたローテーションを組んでいる。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 今のところ各ユニットの職員を固定化し利用者さんの動揺を無くしている。 (外部評価) 管理者と職員の異動や離職が続いている時期である。職員の離職の場合は重複勤務で利用者のダメージを防ぐようにしている。	※	利用者が安定した生活を続けるためにも、ホームとして異動や離職を防ぐ取り組みや工夫が求められる。
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修などの参加を心掛けている。 (外部評価) 県グループホーム連絡協議会に所属し、申し送りノート等を活用して研修の情報を提供し、受講を奨励している。職員は積極的に受講するよう心がけている。受講者は報告書を作成し、ミーティングで報告している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 出来ていない。		
			(外部評価) 法人内で行事を通しての交流はあるが、地域の同業者との交流は十分とは言えない。	※	地域の同業者と交流する機会を設け、相互訪問などを通してサービスの質の向上を図ることが望まれる。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 何でも相談や意見が言える環境にある。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 直接ではないがだいたい把握している。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 本人や家族が事業所を見学時に不安な事・求めている事等をよく聴き、受け止め努力している。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族が求めているものをよく聴き、早目に利用者さんのアセスメントを作成し受け止める努力をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 現在は福祉用具以外での他のサービス利用のケースはありません。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 速やかに入所申し込みを呈示して職員一人一人が利用者さんの事を理解する。 家族にも今までの生活スタイルを聞き馴染みの物を持ち込んで頂く。 (外部評価) 必ず本人及び家族に面接し、話し合ってからサービスを開始するようにしている。入居後も、利用者の状態を見ながら家族の訪問が得られるよう配慮し、雰囲気に馴染めるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 家族であるとの意識をもち、人生の先輩として尊重し安心して生活できる場をつくる。 (外部評価) 昔の歌を教えてもらったり、感謝や労いの言葉をかけてもらうなど、共に支え合う関係を築いている。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族と同じ思いで支援していきたい。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人と家族との関係を理解し、より良い関係が築けるよう支援している。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 面会時には居室でゆっくりして頂ける様努めている。疎遠がちな家族(特にキーパソン)にはこちらから電話して会話して頂ける様努めている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 職員が一人ひとりの事を把握し、みんなで楽しく過ごす時間や気の合う者同士で過ごせる場面づくりをするなど支え合えるように努めている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 必要に応じて相談出来る体制は出来ている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日常生活の中で一人ひとりの暮らし方を把握し、その人らしい生活を検討している。 (外部評価) 日々共に過ごす中で、顔色や体調を見ながら利用者の意向を把握するようにしている。気づきをミニカンファレンスノートに記入して職員間で共有し、本人本位に検討している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 生活歴についてはまだまだ分かっていない事があるが、会話や日々の生活の上で把握に努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 利用者さん一人ひとりの生活リズムを理解するとともに行動や小さな動作から感じとり、本人の全体像の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 利用者さんの担当は決めている。担当者・本人・家族の意見も交えてケアプラン作成している。 (外部評価) 本人及び家族の聞き取りから利用面接票を作成し、担当者を中心に基本プランを立て、ミニカンファレンスで意見やアイデアを出し合って、個別の介護計画を作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 三ヶ月毎見直しているが、変化が生じた場合はカンファレンス、また引き継ぎノートに記入し現状に即した対応をするよう話し合っている。 (外部評価) 3か月毎の定期的見直しを行うと共に、変化に応じてミニカンファレンスで話し合い、現状に即した新たな計画を作成し、家族の意見を聞き、確認してもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 一人ひとりの日々の様子、気づき、身体的状況を経過記録に記入し、職員全員で情報を共有し、実践して介護計画に活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 現在までケースは無いがグループ内の他事業所を利用することは可能。 (外部評価) 法事への出席の支援など、本人や家族の希望に柔軟に対応するよう努めている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) あまり現実には出来ていない。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人・家族さんの意向で介護用品等の購入時には他のケアマネや業者に相談しているが、他のサービスについての連携はほとんどない。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 今のところ推進会議以外では協働がほとんど無い。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 事業所の協力医の他受診の通院は本人や家族の希望に応じて対応している。 (外部評価) 本人及び家族が希望する医療機関の受診や、状態の変化に応じた専門医への受診など、適切な医療が受けられるよう支援している。薬は医務係が管理しているが、受診結果の管理が十分とは言えない。	※	かかりつけ医とホームとの関係を築き、常に適切な医療が受けられるよう、受診結果を管理することが望まれる。
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 協力医院の他に認知症を理解し、受診させて頂いている眼科・歯科があり、必要に応じ往診なども頂いている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 協力医院との看護師とは日頃の健康管理や医療面での相談・助言・対応を行ってもらっている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時には頻繁に職員が見舞うようにしている。また家族とも情報交換をしている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 本人・家族さんの意向をふまえた上で急変時等には家族さんと管理者又はケアマネが同席し主治医と最善の方法を話し合う。 (外部評価) 入居時の早い段階で話し合いを行っている。1人の看取りを行ったが、看取りの指針やマニュアルは作成していない。	※	看取りに関するホームの方針を明確にし、本人及び家族の同意を得て、その後も繰り返し話し合いを行うことが望まれる。指針とマニュアルを作成して、職員全員で共有することが望まれる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 利用者さんの変化を早めにキャッチし、その度、度主治医に報告する。 常に変化に備えて医師と情報交換し家族にも知らせている。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 他の事業所や入院時等フェイスシートを手渡すと共に特に注意が必要な点等情報提供し連携を心掛けている。		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 利用者さんの尊厳を大切にし、プライバシーを損ねない対応をしたい。 (外部評価) 利用者の誇りやプライバシーを損ねる言葉かけや対応はしていない。	※	今後さらにカンファレンス等で話し合い職員全員が言葉かけ、対応に気配りできる様にしたい。
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 利用者さんの意思表示を見逃さないで納得いくまで説明を行う支援。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) その人らしい暮らし、日々大切にしているが時には職員側の都合を優先する場合もある。 (外部評価) 1日の基本の流れの中で、朝食時間や食後の過ごし方など、一人ひとりのペースを大切にしている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 季節感が出て本人の意向も考慮している。髪型等も希望を取り入れている。馴染みの方の訪問カットもある。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 昔の事を思い出して下さるような声掛けしながら食事を楽しんでいる。準備・片付けも出来る人にはして頂く。 (外部評価) 調理の下ごしらえ、配膳や下膳など、一人ひとりの力を活かしながら利用者と職員と一緒に準備や食事をし、会話を交わし、食事が楽しめるよう支援している。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) コーヒー等・好みの物 その人に合わせた時間を楽しんで頂く様な支援をしている。また、食卓上には醤油・ソース・漬物などが自由に取れるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) サインをキャッチし見逃すことなく、また決まった時間に習慣されていてトイレ誘導にも気配りしている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 利用者さんの体調、希望なども確認し楽しんで入浴して頂いている。 (外部評価) 週2回、午後入浴とし、曜日毎に入浴する方を決めている。入浴拒否のある利用者に当日の入浴者を知らせる役をお願いするなど、入浴を楽しめるように声かけにも工夫している。	※	入浴回数や利用曜日を限定せず、その日その日で希望を聞きながら対応し、入浴をより楽しめるような工夫について検討していくことを期待する。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの睡眠時間等把握して状況に応じた支援をしている。	※	なるべく日中の活動を増やし生活リズムを整える様にした。 (散歩など)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 入居前の生活スタイルを考慮しそれを活かした支援 その人らしい生活の支援 (外部評価) 季節ごとの行事をはじめ、料理教室、歌の練習、カルタ取りなど年間の計画やぬり絵やお手玉作りなど、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。また、植木の水遣りなどの役割の支援もしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 職員と一緒に外出時本人が支払って頂く工夫。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) ホームの周りの散歩はもちろん、買い物、ドライブ 出かける喜びの支援。 (外部評価) 買い物やドライブ、近隣の小川や山手への散歩などに出かけており、車いすでの外出も支援している。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 今は家族から誘って頂く機会有り。 (家族の法事など)		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者さんの希望に応じて日常的に電話や手紙を出せる様な支援をしている。 (ホームから葉書・写真など送る)	※	ホーム便りまた家族会等にも取り組みたい。
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 訪問時間など定めてなく、家庭として過ごせるよう工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的 な行為」を正しく理解しており、身体拘束 をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員が正しく認識しており身体拘束のないケアに取り組 んでいる。 転倒防止(夜間)の場合、家族合意のもとに実行してい るが自立支援を目指している。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄 関に鍵をかけることの弊害を理解してお り、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 利用者さんの自由な暮らしを支えるためにも日中はなる べく鍵をかけないですむよう配慮しているがやむを得ず かける場合は家族に説明している。 (外部評価) 外出傾向がある方や、不穏な状態になって戸外に出る方 がおり、利用者の安全のために鍵をかけることが多い。	※	利用者の習慣や不穏になる状況等を把握し、職員が常に 見守りをする事で鍵をかけないケアの実践が可能かど うか、検討を続けていくことが望まれる。
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しなが ら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握 し、安全に配慮している	(自己評価) さりげなく声掛けし全員の状況を把握、安全に配慮して いる。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすの ではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を 防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 利用者さん一人ひとりの状態に応じて取り組みしてい る。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等 を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態 に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 職員が認識し、ヒヤリハット等を活用。日々事故防止に 取り組んでいる。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 近隣に主治医がいて24時間連絡をとれる体制にある。	※	初期対応の訓練必要。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 地域の協力は得られてないが職員は利用者さんを避難できる心得はある。 (外部評価) 緊急連絡網や避難マニュアルを作成しており、消防署の協力を得て年2回の避難訓練を行っているが、自主的な避難訓練は行っていない。また、地域の協力が得られるまでには至っていない。	※	自主的な避難訓練についても、計画的に繰り返し行うことを期待する。また、地域住民に、運営推進会議をはじめ様々な機会を通して協力をお願いし、いざという時に備えておくことを期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) 一部の家族とは話し合い説明している。	※	今後家族会など実施して話し合う必要あり。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 体調変化など見逃すことなく速やかに情報を共有し対応している。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 常に一覧表に記してあり、また服用時には手渡しで最後まで確認している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かさず働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 水分補給に気をつけ（寒天ゼリー）毎食とりいれている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 就寝時、職員の見守りと介助で口腔ケアをしている。また、義歯は居室の専用コップにポリデントを入れて衛生面に気をつけている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの摂取状況をチェック表に記録している。水分量も気配りしている。 (外部評価) 管理栄養士の立てた献立を基に利用者の好みを取り入れた食事メニューとし、またお茶やジュース以外に毎食ゼリーでも水分を確保するよう配慮しており、栄養バランスや水分量が適切に確保できるよう支援している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 主治医の意見を基に必要に応じて対応している。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) まな板や台ふき等は毎晩漂白し清潔を心掛けている。食器乾燥機使用。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 四季の花を植えたりして親しみやすく家庭らしさが出るよう工夫している。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節感を採り入れた飾り付けをしている。 (外部評価) 民家改造型ユニットの家庭的な雰囲気と、近代的な建物のユニットの明るく機能的な雰囲気というそれぞれの特徴を活かしている。カーテンで光を調節し、ベランダの花や額の配置などで季節感や生活感を取り入れ、居心地よく過ごせるよう工夫している。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 広い和室やベランダもあり、独りでくつろげたりお茶を飲むことのできるスペースあり。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 入居時利用者さんの使い慣れた本人の匂いのするものを、とお願いしている。 (外部評価) 仏壇や家族の写真、テレビ、タンス、観葉植物や好みのインテリアなどをそれぞれ持ち込み、本人が居心地よく過ごせるよう工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 風呂場・トイレ等は換気に努め、気になる所には消臭剤等を置き室温調節も出来ている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 家庭的な建物であり、手すり・バリアフリーにもなっていて安全に生活が送れている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 残在機能を活かすためにも出来ることはして頂いている。 トイレに目印案内つけわかりやすい工夫をしている。		
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 庭も広く、野菜・花の水やり、手入れを楽しんだりベランダも活用している。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ① ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	ケアプランや家族の意向より。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	食後の一時。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ある程度ホームのリズムに合わせて頂いている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員がみせる行動一つ一つに喜びを感じられている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	なかなか個人的に実行するには難しい。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	近隣に主治医がいるので利用者さんと共に職員も不安がない。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	その時々要望に応じている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ① ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	月に一度は家族さんとの会話できる時間があり信頼関係が出来ていると思う。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ① ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	家族さんの来所が多い。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) ③ あまり増えていない 4 全くいない	まだ深い関係は築けていない。
98	職員は、生き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	笑顔で生き活きしていないと利用者さんに伝わる。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	散歩、買い物等戸外に一緒に行けるようにしたい。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) ③ 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	外出の機会が少ないので不満に思われているのではと思う。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- 一. はい. という素直な心
- 一. すいません. という反省の心
- 一. ありがとうございます. という感謝の心
- 一. おかげさまで. という謙虚な心
- 一. 私がします. という奉仕の心

- いつ・どんな時でも・やさしさ・真摯な気持ちで入所の方と一緒に生活する。